

<h1 style="font-size: 2em; color: blue;">マイスター</h1>  <h1 style="font-size: 2em; color: blue;">通信</h1> <p style="color: blue; font-weight: bold;">chance ! challenge !! change!!!</p>	<p>寒河江市立 寒河江中部小学校 マイスター通信 No. 4 令和8年5月7日 文責：軽部 隆一郎</p>
--	--

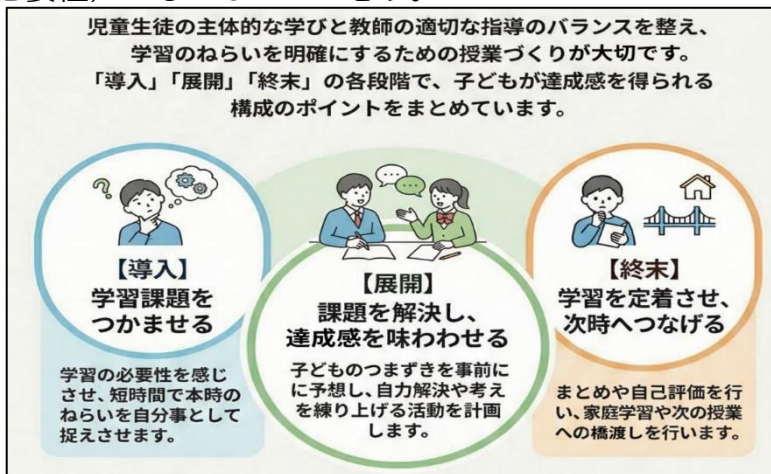
## 「山形県 授業スタンダード」からの授業改善・パート1

先週2年生の算数の授業にT2として入らせてもらい、感じたこと・考えたことについて、この度山形県教育委員会から示された「山形県 授業スタンダード」に照らし合わせて考えていきたいと思ひます。

□少しハードル感のある課題により子どもたちの意欲アップ

・くり上がりのある二ケタ+二ケタのたし算の筆算の学習で、子どもたちは問題を黙々と解くことができた。Y児は頭の中でくり上がりのたし算ができており、くり上がった「1」を十の位に書かずに、暗算で答えを書き表していた。正確性を上げるためにも「1」を書かせたいところである。

→習熟の時間であるならば、少しハードル感のある課題を準備し、取り組ませることも方法のひとつと考える。例えば先生が書いた筆算の間違い探しなど。その間違いをくり上がりの「1」を書き忘れたことによる間違いにすれば、子どもたちのつまずき（学習の必要性）にもつながると思う。



県教育委員会作成

『山形県 授業スタンダード』参照

□アウトプットする相手が変わることのよさ

・教師の「縦の人と確認して」「横の人と…斜めの人と…」という指示で、いろんな友達と交流することができた。ただ一方的に聞くだけの授業ではなく、動きのある授業で、子どもたちの集中力を高める工夫があった。

授業内で取り入れるべき多様な学習活動の例	
分類	具体的な学習活動の例
 インプット・思考	見る活動、きく活動、考える活動
 アウトプット	書く活動、話し合う活動、発表する活動
 表現・実践	動く活動、つくる活動

県教育委員会作成『山形県 授業スタンダード』参照

### □教師の丁寧な説明、端的な発問

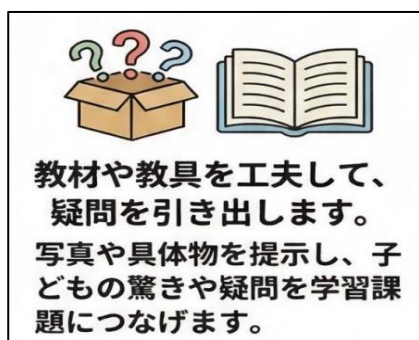
- ・子どもたちに丁寧な言葉で、シンプルに説明する教師の姿があり、教師の人柄が現れていた。
- 子どもたちの発達段階に合わせて、話すトーンを工夫したり、演じたりすることも大切になってくる。



県教育委員会作成『山形県 授業スタンダード』参照

### □具体物や半具体物を操作することの大切さ

- ・発達段階や子どもたち一人一人の特性に応じて、具体物や半具体物を活用したい。小学生であれば、すべての学年でこのような「もの」を扱うことはとても意味があることだと考える。発問の場面だけでなく、筆算などの思考場面でも具体物や半具体物はとても大切であると考えます。



県教育委員会作成

『山形県 授業スタンダード』参照